



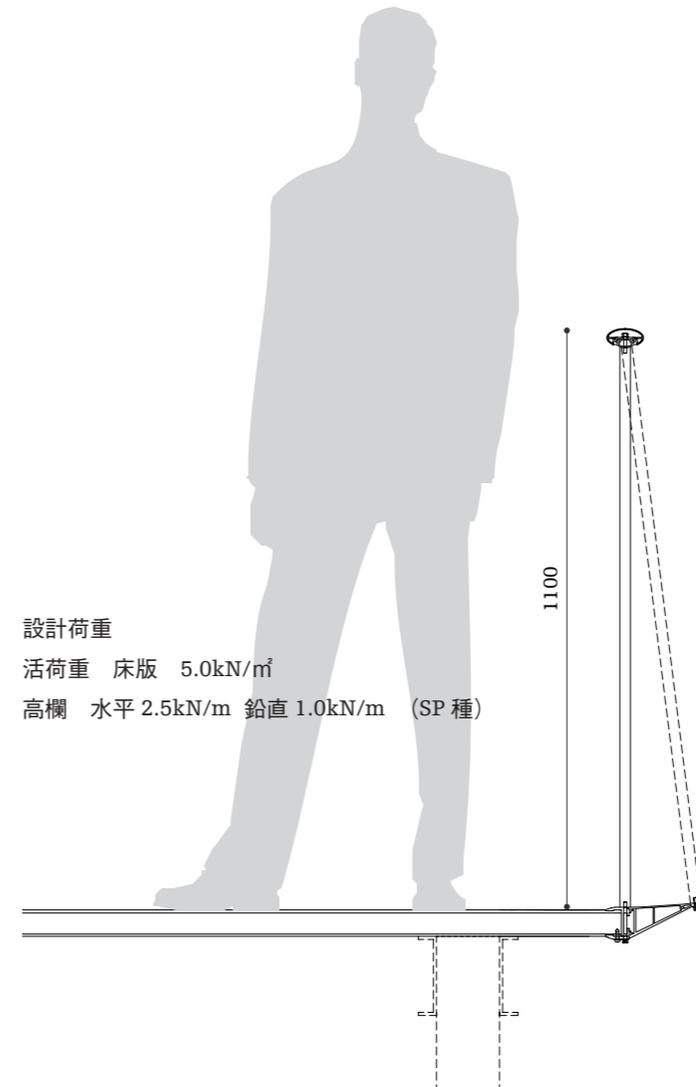


A-1 デッキシステムの「A-1」とは All in One。押出形材の組み合わせで様々な「かたち」を作り出せることを意味しています。川辺の張出しデッキや階段、海辺の浮き栈橋や連絡橋、公園の小さな橋など様々な場所で床を作ることができます。パーツの組み合わせで自在に空間を生み出すことができるユニットシステムです。



1. 汎用性 | A-1 デッキシステムは、張り出しデッキとしての利用だけでなく、小さな歩道橋、連絡橋にと幅広く使用が可能です。階段部、広場仕様などユニットバリエーションも豊富です。
2. 軽さ | アルミ素材の軽さを活かすことで、大きな重機を用いず施工が可能です。災害時、山間部など作業スペースが限られた場所での施工に向いています。
3. 耐久性 | アルミの錆びにくく性質を活かし、塩害地、海沿いでの使用が可能な製品です。

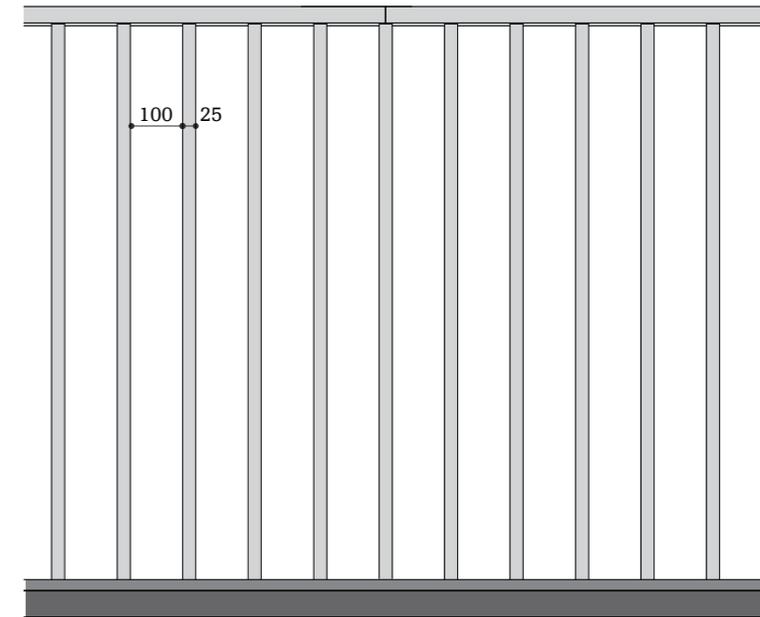
繊細な部材によって、ヒューマンスケールの空間を実現。



設計荷重

活荷重 床版 5.0kN/m²

高欄 水平 2.5kN/m 鉛直 1.0kN/m (SP種)





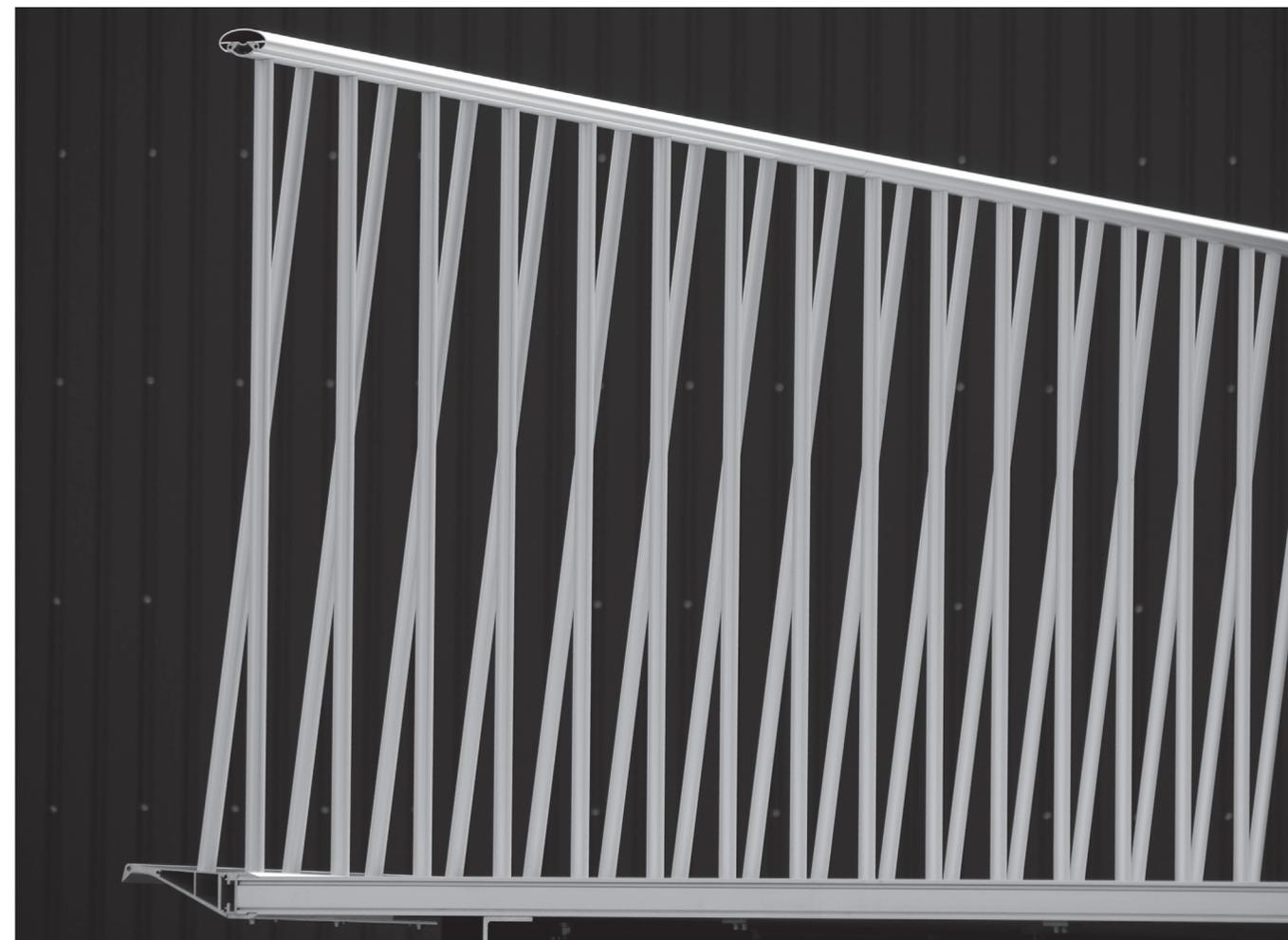
構造としての床版 | A-1 デッキシステムの床版は、それ自体が構造材として機能します。右図のデッキ方向の構造部材が不要となり、通常のデッキ仕様と比べると、床版下部の構造部材を減らすことが可能となります。デッキ下の空間はすっきりと軽快なものとなります。

張り出し | デッキ方向の梁なしで、標準タイプは300mmの張り出しが可能で、条件によって、最大600mmまで対応できます。主構造部材の間隔は最大2,400mmまで可能です。

構造の軽快さ | 床版は厚さ50mmと薄く、端部の高欄固定部材がシャープな形状をしていることから、非常にスレンダーなデザインとなっています。

透明感のある高欄 | 高欄はSP種の強度を持ちながら、支柱は $\Phi 25$ mmであるため透明感のある空間が実現できます。

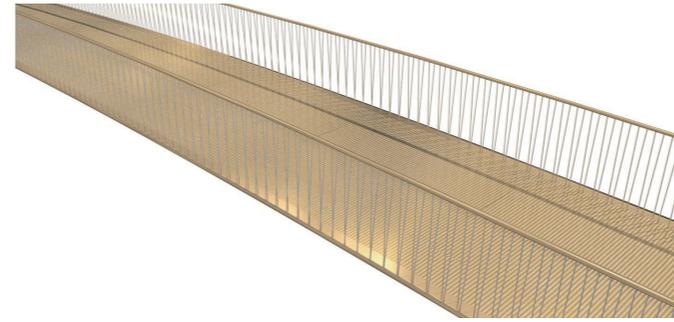
構造デザインによるシンプルな「かたち」



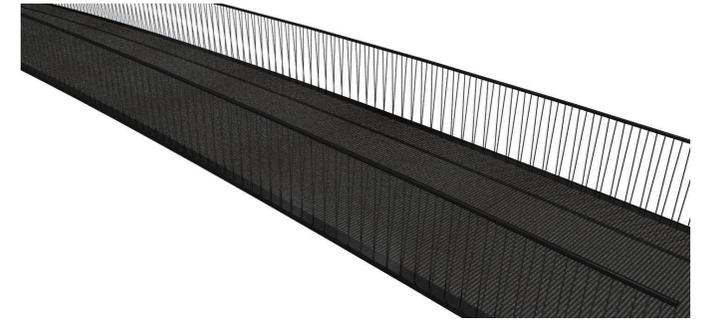
仕上げ・色 | 仕上げはアルマイト（クリアコートなし）。色は、風景に溶け込む色調のアーバングレーとシルバー、風景の中にやわらかく立ち上がるシャンパンゴールドの3色からお選びいただけます。特注色も対応いたします。

滑り止め | 床版には溝があり、C.S.R（滑り抵抗係数）推奨範囲内を確保しています。

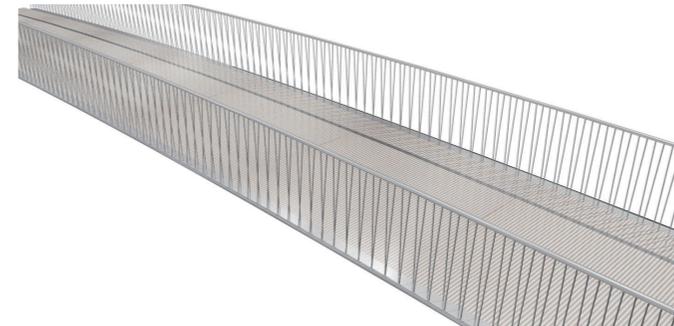
照明 | 標準タイプには照明は付属していませんが、高欄支柱内部に景観照明（LED）を仕込んだ特注タイプも対応可能です。



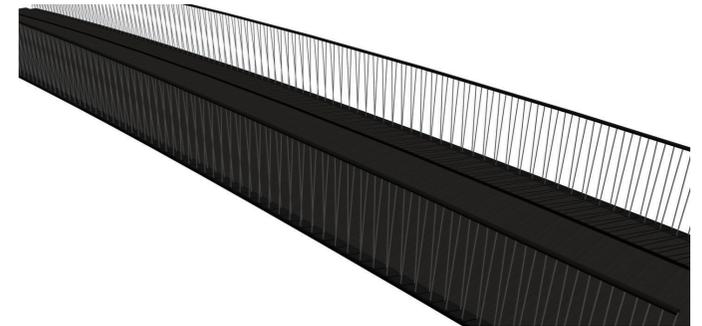
Gold | PANTONE 10119C



Urban Gray | GN-35 (JPMA Standard paint color)



Unpolished Silver | アルマイト（クリアコートなし）



床版・手摺



Urban Gray | GN-35 (JPMA Standard paint color)

高欄支柱



Unpolished Silver | アルマイト（クリアコートなし）

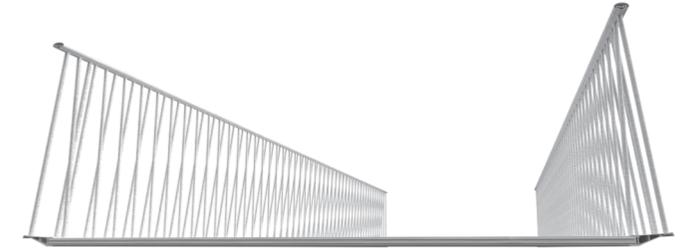
バリエーション | A1 デッキシステムは、様々なパーツを組み合わせることで、階段、広場、通路、立体横断施設と、多様なニーズに適応いたします。下部の主構造部材は場所に合わせて、選択もしくはデザイン提案いたします。

スパン | 0 - 2,400mm (横架材の不要スパン)
幅員 | 0 - 3,000mm (通路・歩道橋使用時)
橋長 | 0 - 20,000mm (歩道橋使用時)

注：長手方向のスパン、橋長は主構造により、別途検証、提案いたします。



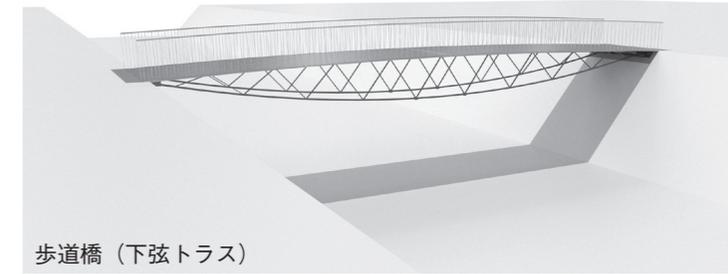
セミオーダーによる多様なバリエーション



A-1 デッキシステム



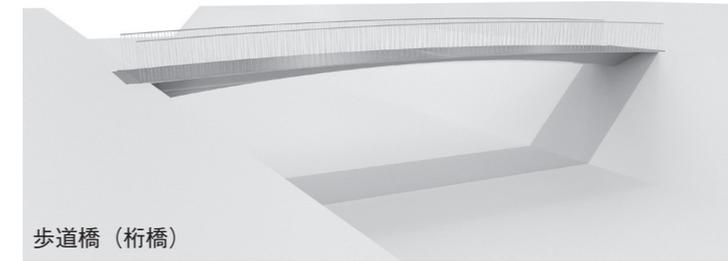
通路



歩道橋 (下弦トラス)



張出しデッキ



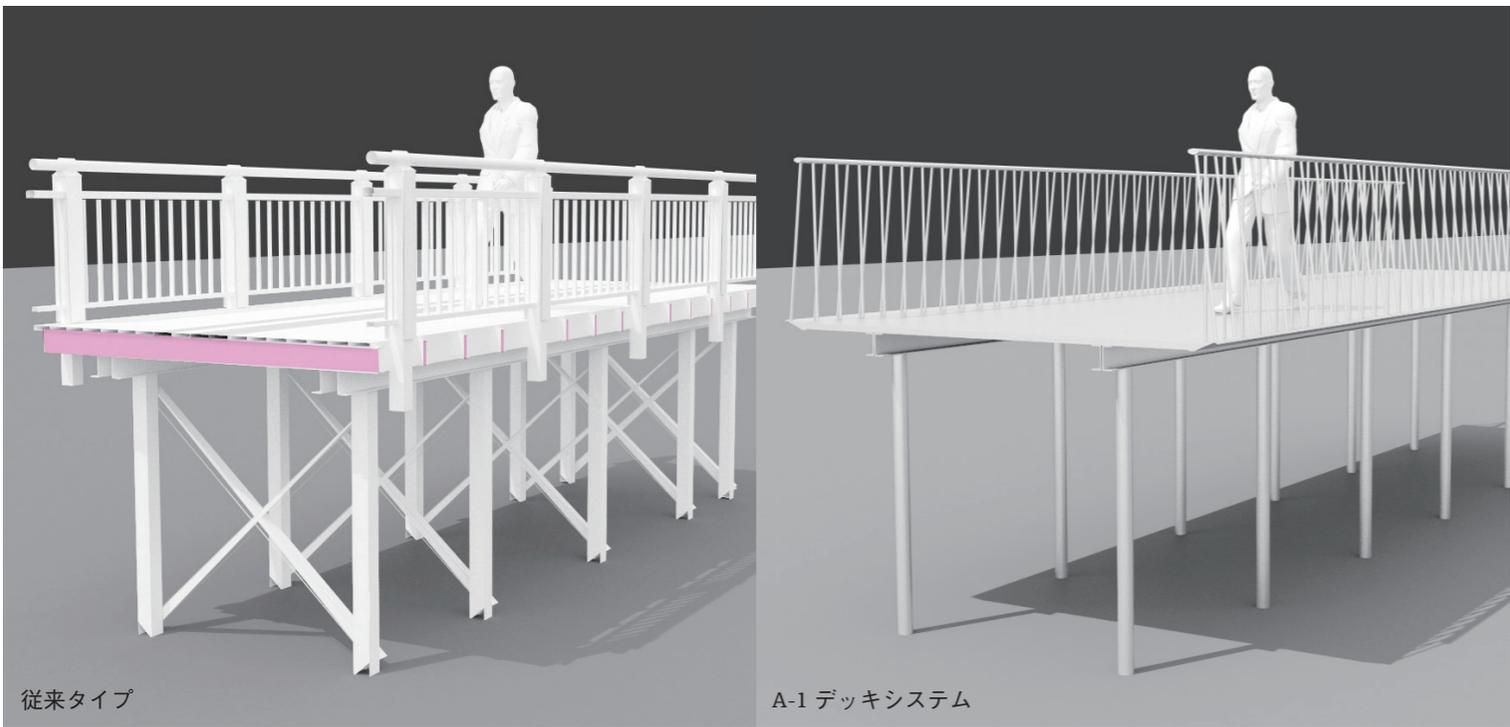
歩道橋 (桁橋)

従来タイプとの比較 | A1 デッキシステムは、床版が構造として機能することにより、主構造間の横架材が不要となります。また、主構造からの張出しも従来タイプよりも大きく取ることが可能です。

Point 1. 開放感のある高欄 (SP 種)

Point 2. 横架材が不要

Point 3. 張出しが可能





CLEANeNERGY + LANDSCAPE

株式会社 風憩セコロ

<http://www.fukei-s.com>

本社・関東工場 head office・Factory

〒361-002 6
埼玉県行田市大字野字八ッ島3341-7
TEL：048-558-007 7
FAX：048-558-007 8

東京支社 Tokyo Office

〒101-0044
東京都千代田区鍛冶町2丁目3-2 神田センタービル9F
TEL：03-5209-823 1
FAX：03-5209-8232

九州営業所 Kyushu Office

〒812-001 3
福岡市博多区博多駅東二丁目15番19号K.S・T駅東ビル2F
TEL：092-432-722 0
FAX：092-432-722 1

関西営業所 Kansai Office

〒532-0011
大阪府大阪市淀川区西中島 4-6-24 大拓ビル9 7F
TEL：06-6838-3356
FAX：06-6838-335 7

東北営業所 Tohoku office

〒024-0004
岩手県北上市村崎野18地割129-7
TEL：0197-72-7272
FAX：0197-72-727 3